

東洋英和女学院大学大学院

2009年度前期入学試験

秋季選抜 問題

国際協力研究科 修士課程

英語

## 【英語の問題】

1945年8月に当時のトルーマン政権は日本に二つの原爆を投下しました。この原爆投下をめぐっていまでも論争が続いています。なぜトルーマン大統領は原爆投下を決定したのか。次の英文は、その論争について書かれたものです。英文では、正統派 (traditionalist historian)、修正主義派(revisionist historian)、修正主義批判派(critics of the revisionist argument)の各見解が紹介されています。英文全体を読み、三派の見解をできるだけ詳しく紹介しなさい。

(※注意) 解答として、全訳を求めているものではありません。英文の冒頭から翻訳するということだけは決してしないでください。

(参考：人名の呼び方)

Hebert Feis(ハーバート・フェイス)、Gar Alperovitz(ガール・アルペロビッツ)、Gabriel Kolko (ガブリエル・コルコ)、Martin Sherwin (マーティン・シャーウィン)、Barton Bernstein (バートン・バーンスタイン)、James Maddox (ジェームズ・マドックス)

出典： Michael Kort, The Columbia Guide to the Cold War,  
Columbia University Press, New York, 1998, pp.19-21.